



学校名 [ 通町小 学校 ] 氏名 [ 教諭 安附 仁 ] [小] 学校 [ 1・2・3 ] 年版 単元名 [ぼうさいリュックをいしよう] P40～41 教科・領域名 [学級活動] [ 時間 45分 ]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p><b>【ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もしもに備えて、自分の家の防災リュックを準備する意識をもつ。</li> <li>1 遠足に行く時のリュックに入っているものを思い出し確かめる。(遠足に行く時、リュックの中に何が入っていたかな?) (・おやつ・お弁当・タオル・ビニル袋 他)</li> </ul> <p><b>【児童に伝えたこと】</b></p> <p>リュックは、たくさんのもが入り、手が自由になるのでとても便利であることを知らせる。</p> <li>2 防災リュックの中に入れる必要なものを考え選ぶ。(「電気や水道・ガスがない無人島に1週間過ごすことになったら、リュックの中に何を入れますか?」) (缶詰・薬箱・水・ラジオ・ホッカイロ 他) *「防災」という言葉に震災への恐怖を思い出す児童がいるので、無人島に代えた。</li> <p><b>【児童に伝えたいこと】</b></p> <p>防災リュックの中に入れるものを選び、友達と比較し話し合い、担任が支援しながら必要なもの(「必ず必要なもの」と「あると便利なもの」)を知らせる。そして「クラスみんなが考えた防災リュック」を完成させることによって防災の意識をもたせる。</p> <li>3 「わが家の防災リュックをいしよう」を読み、「わが家の防災リュック」について考える。 (「家族の人と、今日の防災リュックについてお話してね。」)</li> <p><b>【児童に伝えたいこと】</b></p> <p>「クラスみんなが考えた防災リュック」を完成する前に、一人一人が選んだものに違いがあったことを思い出させ、それぞれの家で家族構成が違うので、自分の家の防災リュックを準備することに気付かせる。</p>	<p><b>【準備物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リュック (遠足用・防災用)</li> <li>・リュックに入れる主な物 (おやつ・お弁当箱・敷物・ビニル袋・タオル・水・ジュース・着替え・薬箱・携帯ラジオ・懐中電灯・ホッカイロ・財布 他)</li> </ul>  <p><b>【学習形態】 グループ学習</b> 自分が必要と思われるものを選んで、友達に説明したり、友達の選んだものとその理を聞いたりしながら、「クラスのみんなが考えたリュック」を作っていた。</p>  <p><b>【児童の感想から】</b> リュックの中に入れるものは、みんな違うこと分かった。みんなで楽しく選ぶことができた。ぼくが選んだものが決まってよかった。お母さんにもリュックのこと話したい。</p>